第10回

応現院 文化講演会

「いのちのバトンタッチ」

―映画「おくりびと」に寄せて

◎講演者：映画「おくりびと」原案者　詩人・作家　青木 新門 氏

平成23年 11月18日（金） 14時～

講演会・90分　開催場所・応現院（立川市泉町）

◎主催：応現院文化講演会実行委員会◎後援：立川商工会議所・立川観光協会・立川バス株式会社・FMたちかわ
◎協力：株式会社精神文化映像社・えくてびあん・多摩てばこネット◎協賛：真如苑

第10回 応現院 文化講演会

詩人・作家

青木 新門氏

講演者略歴

1937年富山県生まれ。早稲田大学中退後、富山県で飲食店を経営する傍ら文学を志す。吉村昭氏の推挙で「文学者」に短編小説「柿の炎」が載るが店が倒産。1973年冠婚葬祭会社に入社（現在は顧問）。1993年葬式の現場の体験を「納棺夫日記」として著しベストセラーになる。1998年に米国で英訳出版。中国語、韓国語でも翻訳される。2008年に「納棺夫日記」を原案とした映画「おくりびと」（本木雅弘主演）がアカデミー賞外国語映画賞を受賞。

◆応現院文化講演会について

「応現院文化講演会」は、2006年春、立川市泉町に落慶した真如苑の寺院「応現院」を、地域の皆様に文化交流の場としてご活用いただくことを目的に実施しております。地元立川の諸団体の皆様にもご協力をいただき、これまでも様々な分野でご活躍されている方々に、ご講演いただいてまいりました。

第10回となる今回は、詩人・作家の青木新門氏を講師にお迎えいたします。

数十年来、「納棺夫」として数々の死とまっすぐに向き合う中から、生命のきらめきを感じられてきた青木氏。このたびは、「いのちのバトンタッチ」と題し、多くの共感をえた映画「おくりびと」に寄せて、ご講演いただきます。

◆ご応募について

●申込み 9月24日（土）申込開始

①または ②のいずれかの方法でお申し込みください。

①往復ハガキ：住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数（本人を含め2名まで）を明記の上、郵送してください。

②インターネット：パソコン・携帯電話にて、下記アドレスにアクセス後、応募フォームに従ってお申し込みください。

※インターネットの応募受付は、9月24日午前10時より開始。

●締切り 10月24日（月）必着／定員：700名様

※インターネットの応募受付は、10月24日午後5時締切り。

●送付先 〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4階

応現院文化講演会実行委員会 宛

※応募はお一人様1回までとさせていただきます。

※応募多数の場合は抽選となります。

※抽選結果は10月5日頃までにハガキでお知らせいたします。

●入場無料（対象 中学生以上）

●場 所 応現院 立川市泉町935-27

●交 通 【立川バス】立川駅北口 曙バスターミナル、玉川上水駅南口から応現院行き

【多摩モノレール】立飛駅から徒歩5分

※お車でのご来場はご遠慮ください。但し、車いすご利用の方はお問い合わせください。

◆ お問い合わせ先：応現院文化講演会実行委員会

TEL.042-523-9898 URL.http://www.bunkakoenkai.jp